

# 国立中央青少年交流の家 職員の MY ACTION!

国立中央青少年交流の家で働いている職員が現在取り組んでいる、または今後取り組んでいきたいSDGsを紹介します！みなさんも一緒にSDGsに取り組んで行きましょう！

循環型社会の構築に向け、3Rを積極的に実践します。定期的にノーマイカーデーを設け、徒歩通勤し、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めます。

**所長 津久井賢**

質の高い体験活動をみんなに！体験や経験を積み重ね、体験を通してみんなが自分の足で歩んで行けるように心に響く体験の機会を創造します。

**次長 桑山宗大**

機会がある時に、西アフリカでボランティア活動をしていた時の経験を話し、少しでも貧困等の問題に目を向けてもらえるよう努めます。また、マイバッグを使用するなど、できることからやっています。

**総務・管理係 荒川大佑**

家電のこまめなON・OFF、エコバックの使用、近場への移動は徒歩、ごみの分別の徹底など、生活の中で必要以上に資源を消費しないようにできる範囲から努めていきます。

**総務・管理係 大石章司**

所内の環境整備を通じ、青少年を始めとする利用者の皆さんに、自然と緑の豊かさに触れて頂くよう努めます。

**総務・管理係 奥田峰生**

人と人の繋がりを大切に、周囲の人も自分自身も、明るく元気な毎日を過ごせるように心がけます。

**企画指導専門職 土屋貴弘**

今年に入って、一児の父になりました。この子が生きる将来が希望に満ち、また、この子と同じ時代を生きる人たちが、不遇のうちに取り残されず、手を取り合って生きられる社会となるよう、教育施設の職員として、また、一個人として、日々、出来ることに取り組んでいきたいと思っています。

**事業推進係 青木克之**

体操競技の指導、審判、等を通じて生涯学習の普及に努めます。使用する財布、手帳、名刺入れ等を自作して省エネに努めます。

**事業推進係 吉田哲郎**

平和で明るい未来を見据え、エコの取り組みを積極的に行います。また、様々な体験活動を通じ、子供たちの未来あふれる世界を作っていくよう質の高い教育を行える指導者を目指します！

**事業推進係 小林昌博**

5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を心がけ、3ム（ムリ・ムダ・ムラ）をなくし、ストレスフリーな職場を目指します。

**総務・管理係 設楽恵美**

『安いから買う』ではなく、「本当に必要なものなのか」「長く使えそうか」などを考えて購入するとともに、エシカル消費を意識し、フェアトレード商品の選択も心がけます。

**企画指導専門職 市川大**

すぐに新しいものを買うのではなく、使えるものは工夫してリサイクルする心がけが大切です。大事な資源である水の節水、必要以上の異物(マイクロプラスチック等)の流出を防ぐよう子どもたちにも指導していきます。

**事業推進係 滝田笑子**

世界の情報に関心をもち、フェアトレード商品の購入やSNSでも可能な取り組みに参加したいと思います。フェアトレード商品を新たに発見したいと思います。

**事業推進係 柴谷紗良**

周りへの配慮を忘れず、自分の仕事に誇りとやりがいを持って働きます。全ての事、人に対して公正・公平に関わっていきけるよう努めていきます。

**事業推進係 阪井護**

食器や洗濯、掃除などで使用する洗剤は環境と体に優しいものを使います。家庭で消費できる分だけ購入し食品ロスをなくすよう心がけます。食品は無添加、遺伝子組み換えではない安全で信頼できるものを買入ります。

**総務・管理係 高垣博子**

オリエンテーション、出前講座など利用者対応の際、エコな生活、「早寝早起き朝ごはん」を伝えていくことを実践します。また、自分自身がSDGsを意識した生活を心がけていきます。

**企画指導専門職 長谷川賢**

生活において無駄をなくし、使用できるものは使用し、責任のある行動をとる。

**事業推進係 平山久**

使い捨てよりも長く使えるものを選び、食料やエネルギーなどの無駄を無くすようにします。また、瓶・紙・プラスチック・衣服・本をリサイクルします。

**事業推進係 見川美和**

さまざまな価値観や生き方を理解し、分け隔てなく人と接します。

**企画指導専門職 藤原章善**

身近なことから出来るエコ活動に努めます。環境汚染が少しでも無くなるよう、合成洗剤の使用を控えたいと思います。

**事業推進係 勝間田茂美**



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。